

標題 : 公立刈田総合病院で働く職員の処遇確保を求める  
「緊急団体署名」への協力要請について  
発信番号 : 自治労発2023第0016号  
発信日付 : 2023年1月10日  
宛先(団体) :  
宛先 : 各県本部委員長様  
送信者(団体) : 全日本自治団体労働組合  
送信者 : 中央執行委員長 川本 淳

連日のご奮闘に敬意を表します。

さて、公立刈田総合病院(宮城県)を運営する白石市外二町組合(白石市・蔵王町・七ヶ宿町)は、組合を解散し、2023年4月より白石市が組合の承継団体として、また、指定管理者には医療法人「仁誠会」が運営することが決まっています。

公立刈田総合病院の公設民営化問題は、2019年3月に管理者の一員である山田白石市長が突然主張しました。これまで約3年間、公設民営化反対運動を地域住民と連携し自治労宮城県本部として取り組んでまいりましたが、2023年4月から指定管理者への移行が決定してしまいました。

この決定以降、病院職員の雇用と処遇を確保するため取り組みを進めてまいりましたが、開院まで3か月を切る中、いまだに診療科やそれに基づく医師・医療従事者の配置も明らかになっていません。

さらに、仁誠会が示した賃金は現給に遠く及ばず、その水準は、基本賃金で最高到達額が年収ベースで290万円~390万円に留まっています。山田白石市長は「手当で給与を確保する」としていますが、その影響は大きく、このままでは多くの職員が離職する可能性があります。

公立刈田総合病院が地域の基幹病院として存続するためには、政策医療を担うにふさわしい、賃金・労働条件の整備と雇用の安定による人員確保が不可欠です。

公立刈田総合病院職員組合は組合員数170名を超えます。これほどの雇用確保闘争は、自治労宮城県本部では最大規模の取り組みです。全国の単組の団体署名による緊急支援を要請いたします。

以上のおり自治労宮城県本部の要請を受け、自治労として標記団体署名に下記のとおり取り組むこととしますので、各県本部・単組にご協力をいただきたくお願いいたします。

なお、取り組み期間が大変短くなっております。緊急的な取り組みとしてご理解とご協力をお願いいたします。

## 記

### 1. 署名の概要

白石市外二町組合管理者並びに白石市長宛て「公立刈田総合病院で働く職員の処遇確保を求める団体署名」

### 2. 署名用紙

お手数をおかけしますが、団体署名用紙(添付)をプリントアウトし増し刷りしてご使用下さい。

### 3. とりくみ方法

県本部・単組の団体署名の取り組みをお願いします。

### 4. 署名集約日 2023年1月20日(金)とします。

### 5. 署名集約方法

県本部もしくは単組から自治労宮城県本部にメールもしくは郵送でお送りください。

署名団体送信先メールアドレス : kikutani@j-miyagi.jp

郵送先 : 〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町7-23 自治労宮城県

本部 菊谷 宛

6. 問合せ先

自治労宮城県本部 下遠書記次長、埴組織部長まで  
電話 022-222-6814

添付ファイル :

公立刈田総合病院で働く職員の処遇改善を求める団体署名 (1). docx